

たまた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

新年度
県予算案

県議会随一の論客として

2月県議会予算委員会 印西市特集

防災、医療、環境で積極発言

千葉県議会随一の論客として期待を集めている滝田敏幸県議(印西市選出・2期)は2月県議会の予算委員会で登壇、県の総合防災拠点立地問題と放射能を含んだ焼却灰の保管問題の2点に絞って県の施策、方針を鋭く質問しました。なお、今県議会では実質過去

最大の一般会計1兆6001億円の新年度予算が審議されましたが、印西市の印旛日医大北総病院ドクターヘリなどの救急救命事業に6億5000万円が予算化されました。森田知事とともにドクターヘリを視察するなどした滝田県議らの努力が実ったものです。



森田知事と印旛日医大ドクターヘリ視察
ドクターヘリ格納庫整備含む救急救命医療事業
6億5000万円が予算化されました!

県消防学校の立地議論

滝田議員 県の総合防災拠点の立地について、県議会の本会議においていくつかの具体的な候補地の提案があったが、現在、どのような候補地が検討されているのか。

滝田議員 具体的な候補地の提案があったが、現在、どのような候補地が検討されているのか。

滝田議員 具体的な候補地の提案があったが、現在、どのような候補地が検討されているのか。

市内の御提案をいただいております。総合防災拠点の具体的な設置場所については今後外部の有識者を入れた新たな検討組織を立ち上げ、決定したいと考えています。
滝田議員 基本設計の予算が計上されていることから、候補地は、県所有の土地と思われるかどうか。
副防災危機管理監 総合防災拠点の基本設計の予算額については、特定の県所有の土地を想定したものではありません。京都市の消防活動総合センターをはじめ、富山県や徳島県等の他県の事例を参考として予算を計上させていただいたものです。
滝田議員 昨年9月の定例会で具体的な提案のあった2つの候補地について、この5カ月の間に現地調査を行ったのか。
副防災危機管理監 候補地については、先日、現地を見ております。
滝田議員 2つの候補地の現時点での評価について、長所短所を含めて具体的にどうか。
副防災危機管理監 現段階では、この場で、意見を表明することは差し控えた

の選定については、今後の委員会を立ち上げて御検討いただくこととしておりますので、御理解をいただきたい。
滝田議員 ここで具体的に議論することが大事ではないのか。議論できなければ先に進まない。
副防災危機管理監 用地については、あり方検討会において条件等が示されており、その件については、用地選定の委員会を立ち上げ、専門家の御意見を十分うかがって決定したいと考えております。
滝田議員 平成23年3月11日にスプロク健康スクエア用地を国体終了後に、教育財産から普通財産に分類替えし、その3日後に、県の総合防災拠点のあり方検討会を立ち上げる予定があったこと自体、行政内部にスプロクパークを総合防災拠点の候補地にするとする力学、ベクトルが存在していると考えられるかどうか。
副防災危機管理監 教育財産については、細かい資料を持ち合わせていないので分かりませんが、現段階では、総合防災拠点の候補地は、これから検討委員会を立ち上げて検討をしたというところですので、御理解いた

滝田議員 総合防災拠点の立地は、周辺地域も含め液化危険度を十分 勘案し、地盤の強固な場所とすべきと思うかどうか。
副防災危機管理監 あり方検討会の報告の中では、地震による揺れや津波・液状化等による施設の被害を最小限に防ぐため、免震構造や地盤改良など、安全確保対策を十分に行うことという御意見をいただいております。それを踏まえて検討会で検討したいと考えております。
滝田議員 あり方検討会作業部会では、県中部が望ましいとあったが、県議会で提案のあった八街市やニュータウン地域が、この条件によって候補地として排除されたり、決定的な低評価となることはないか。見解をうかがいたい。
副防災危機管理監 設置場所については、消防学校の利用者や研修施設の利用者の利便性を考慮し、中部が望ましいという報告でした。これをもって候補地から排除はされることにはございません。

実質過去最大1兆6001億円審議

たまた敏幸・PROFILE

略歴

- 1960年 印西市大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校 同志社大学卒業
- 1982年 印西市議初当選
- 1999年 印西市議再選
- 2003年 千葉県議初当選
- 2007年 印西市消防団副団長 県議員：総合企画常任委員長
- 2008年 “
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2011年 千葉県議再選

現職

- 県議会 環境警察常任委員 議会運営委員会委員

放射性物質含む焼却灰 4団体計4100トンを徹底議論



焼却灰の処理について再質問する滝田敏幸県議

りの発生量は、約5トとなりませ

焼却灰の放射性セシウムについて、昨年の12月以降1キログラムあたり8000ベクレルを下回り、直近の2月22日の測定結果は3900ベクレルとなっておりま

す。

滝田議員 4市1組合各々の焼却灰等について、現時点での一時保管量及び日々の排出量、また、放射性濃度はどうか。

資源循環推進課長 2月20日現在の保管量は、松戸市231ト、柏市2612ト、流山市752ト、印西地区環境整備事業組合463トであり、4団体合計約4100トの焼却灰等が、清掃工場の施設内または敷地内や、最終処分場で一時保管されています。

4市1組合における一時保管を要する焼却灰の日々の排出量は、松戸市約3ト、流山市約4トとなっておりま

す。

滝田の主張・基本的考え方

- 自治体間の〈共助〉の精神 困った時はお互い様。助け合いの心。社会の絆を強化することが重要
- 放射能問題は感情ではなく、科学的知見に基づく理性的対応が重要

なお、柏市では、南部クリンセンターが1月5日から停止中のため、一時保管を要する焼却灰等は発生していません。

直近の放射能濃度は、焼却灰等1キログラムあたり、松戸市2万8000ベクレル、柏市5万4000ベクレルであり、流山市では8000ベクレルを下回る3300ベクレルとなっています。

日々増加し 状況ひっ迫

滝田議員 現時点で考えられる各市における一時保管のリミットをどのように

新年度予算主な事業

東日本大震災への対応

- 「がんばろう!千葉」市町村復興基金交付金 (20億円)
- 放射能監視・調査体制整備強化 (4200万円)
- 県新エネルギーなど活用推進 (6000万円)
- 河川海岸津波対策 (11億円)
- 水門操作遠隔化システム整備 (3億円)

安全・安心

- 移動交番車配備 (1億5200万円)
- 振り込め詐欺・悪質商法被害抑止コールセンター (9800万円)
- 橋梁耐震化 (10億円)
- 危機管理防災センター(仮称)整備 (2億5000万円)

医療・福祉

- 医師確保関係 (5億4700万円)
- 救急救命センター等整備 (6億5100万円)
- 東金九十九里地域医療センター助成 (2億8800万円)
- 周産期関連 (7億3000万円)

子育て支援

- 子ども医療費助成 (59億2900万円)
- 保育所緊急整備 (34億3900万円)
- 市立学校経常費補助 (17億5800万円)
- 児童擁護施設整備促進 (4億3300万円)

観光振興・魅力発信

- 千葉の魅力発信事業 (1億5100万円)
- 観光プロモーション (1億6000万円)
- ちばアクアラインマラソン開催 (9300万円)

雇用拡大・産業振興

- 新卒未就職者人材育成 (7億5600万円)
- 中小企業振興資金融資枠 (5700億円)
- 県中小企業連携強化推進 (1500万円)
- 青年就農者確保・育成 (2億8800万円)
- 拠点漁港機能強化 (3億3800万円)



公明党県議団とともに、印旛日医大北総病院を視察する滝田敏幸県議。救急救命医療整備の要望を同病院関係者から受ける(左)

捉えているか。資源循環推進課長 現時点における一時保管のリミットについては、各市ともひっ迫した状態が続いていることから、ゴミ焼却施設の運転方法の工夫や、焼却灰を入れた容器の保管方法の工夫などを行い、一時保管を継続できるよう、懸命の

努力がされております。滝田議員 候補地における保管対象、保管量の想定はどうか。また、どのような飛散・流出防止対策を講じようとしているのか。資源循環推進課長 保管対象は、原則として、利用開始日以降発生する8000ベクレルを超える焼却灰

を保管することとしています。保管量は、一時保管を継続している松戸市、柏市及び流山市の発生量の約1年分を想定しています。飛散・流出防止対策としては、焼却灰を耐久性の高いフレキシブルコンテナやドラム缶に封入した上で、堅固なテントを設置し、その中で保管することとしています。

地元議会・住民に「いねいな説明を

滝田議員 一時保管に対する不安を払しょくするため地元住民や市議会に対する説明会のスケジュールはどうか。

資源循環推進課長 県から提案した、地元住民及び市議会への説明会の開催について、2月28日に印西市から、2月29日に我孫子市から、市議会への説明につい

再質問

滝田議員 スピード感を持った対応とともに、受け入れ自治体の地元住民の感情にも十分配慮していねいな説明を尽くしていただく

副知事 この件につきましては、焼却灰が日々増加しているという緩慢に進行する、危機が迫っているという状況と理解しています。スピード感をもった対応等を行う必要がありま

すが、それとともに、受け入れ自治体の地元住民の感情にも十分配慮し、いねいな説明をしていきたいと考えています。

●千葉県と印西市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173